

平成19年10月29日

雄武町長 田原賢一 殿

雄武町総合計画策定審議会

会長 成田勝弘



「第5期雄武町総合計画」に関する基本構想及び基本計画の
樹立について（答申）

平成18年12月8日付けで諮問のありました「第5期雄武町総合計画」に関する基本構想及び基本計画の樹立については、少子高齢化等の大きな潮流の変化を踏まえ、確かな地域力に支えられた自立する雄武町のまちづくり実現に向け、その指針となる基本構想及び基本計画について慎重に審議を重ねた結果、意見を付して別冊のとおり答申いたします。

なお、新たな総合計画の推進にあたりましては、当審議会における審議経緯及び付帯意見を尊重されますとともに、常に町民とのまちづくり情報の共有に努められ、希望と安心感を持てる自治体運営がされますことを期待いたします。

記

〔付帯意見〕

1 はつらつ・雄武（政策目標1）について

- ① モノづくり力を高めるため、町からの積極的な働きかけが必要である。
- ② 遊休農地の多角的な有効活用を検討していく必要がある。
- ③ 林業は今後注目される産業分野となるため、さらに力を入れていく必要がある。

2 むくもり・雄武（政策目標2）について

- ① 地震や災害時にボランティアとして動けるネットワークづくりが必要である。
- ② 国保病院については、安心して医療が受けられるよう経営改善を図り、健全な運営に努めること。

3 のびやか・雄武（政策目標3）について

- ① 産業体験や学校給食への地場製品の活用を図り、子供たちに雄武の良さを知ってもらうことも必要である。

4 うるおい・雄武（政策目標4）について

- ① 条例等の制定によるマナーの向上についての検討が必要である。

5 ささえあい・雄武（政策目標5）について

- ① 自助・共助・公助による役割分担を明確にしていくことが必要である。
- ② 中国文化に接する機会が少ないことから、中国人研修生等との国際文化の交流等ができる体制づくりが必要である。
- ③ 役場の窓口業務については、ワンストップサービスが可能となるための検討をしていくことが必要である。